

2022年谷口ゼミの研修旅行は福岡県を訪れました。

私たちの研修旅行のテーマは、「福岡県内の博物館・寺院・神社等を巡り、外国と日本との交流を探る」でした。そして私たちは中世のゼミなので、元寇に関する施設や神社を訪れるよう、計画を立てました。

一日目のメインは福岡市博物館でした。ここでは博物館の学芸員の方をお願いして、常設展の解説をしていただきました。福岡市博物館では通常の時代区分ではない、独自の時代区分を採用した展示がされており、福岡の歴史を現地の視点で学ぶことができました。



二日目は太宰府方面に向かいました。午前は九州国立博物館、午後は太宰府やその周辺の寺院等を訪れました。水城跡は、当時、官道や大宰府政庁への道、国分寺への道と接続していたようで、それぞれ公共交通を使わずに移動し、訪れたことで位置関係を知ることができました。

写真は太宰府政庁跡で撮影したものです。  
広い面積で、見晴らしが良かったです。



大宰府天満宮近くにあるお店で昼食を取りました。  
和牛明太重をいただきました。  
今回の旅の中で食べたものの中で一番のお気に入りです！

三日目は博多周辺の神社を中心に巡りました。崇福寺、筥崎宮、聖福寺、承天寺は規模が大きく、圧倒されました。

今回の研修旅行は、たくさん歩きました。現地に行ってみて、当初の計画になかったけれども、急遽訪れることになった場所もあり、柔軟な研修旅行であったと思います。現地に行かなければ知ることのできなかつた情報や、土地勘を得ることができました。



この写真の銅像は元寇史料館の近くにある亀山上皇です。  
彼は元寇の際に「敵国降伏」を祈願した人物です。  
三日目に訪れた宮崎宮も亀山上皇ゆかりの地です。

道中でたまたま「中世博多うどん」という看板を見つけ、思わず入店。お昼でラーメンを食べたあとでしたが、ペロリと完食してしまいました。



←元寇の際に築かれた防塁で、  
現存しているものです。